

第3学年 社会

第3学年の学習到達目標

- (1) 地域の産業や消費生活の様子，人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし，地域社会の一員としての自覚をもつ。
- (2) 地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察，調査し，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，調べたことを表現するとともに，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。

第3学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	1 わたしのまちみんなのまち もっといろいろしりたいね 学校のまわり 広島市の様子	身近な地域の事物・事象や特徴ある場所の様子に関心をもち，諸感覚を働かせて意欲的に調べ，場所による様子の違いや特色を理解する。 学校のまわりの様子を観察し，絵地図や平面地図に表して調べ，身近な地域のよさに気づく。	身近な地域や市の様子 観察・調査，白地図にまとめる 地域の様子は場所によって違いがあること ・特色ある地形，土地利用の様子，主な公共施設などの場所と働き，交通の様子など
	2 人びとのしごととわたしたちのくらし 広島市の人びとのしごとはたらくひとがたくさんいたよ スーパーマーケットではたらく人 工場の仕事	わたしたちの地域では，人々が販売に関する仕事をしていて，日々のわたしたちの生活を支えていることがわかる。 身近な地域の販売活動の実際について，観察・調査したり，表現したりすることを通して，仕事の特色や他地域との関わり，仕事に携わる人々の工夫を具体的に考える。	地域の人々の生産や販売 見学，調査 生産や販売の仕事に携わっている人々の工夫 ・地域の生産や販売の仕事が自分たちの生活を支えていること ・地域の人々の生産や販売の仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり
	3 暮らしをまもる 火事です！火事です！ 火事がおきたら	消防署で働く人の仕事の工夫や努力を知るとともに，火事が起きた時の関係諸機関の緊急事態に備えた連絡・活動の仕組みを理解する。 身近なまちの火災に対する備えを知ることにより，安全なくらしへの関心を高める。	地域社会における災害や事故から人々の安全を守る工夫 見学，調査 安全を守る関係機関の働きと従事している人々の工夫や努力 ・関係諸機関が相互に連絡を取り合いながら緊急に対処する体制をとっていること
後期	じこやじけんがおきたら	事故や事件からくらしを守っている警察の働きを知り，そこで働く人々の工夫や努力を理解する。 地域での調査活動をもとに，自分たちのくらしの安全と警察の仕事が密接に結びついていることを様々な表現活動で伝え合う。	
	安心してくらするまちに 地しんにそなえて	みんなが安心してくらすためにはどのようなまちづくりを進めればよいのか，阪神淡路大震災のような大規模災害の被害や経験をふまえて，様々な面から考えることが出来る。 自分たちが住んでいるまちをさらに安心してくらするようになるために，様々なアイデアを出すことが出来る。	

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点 それぞれ学習を進める中や学習後に評価します。</p> <p>【社会的事象への関心・意欲・態度】 地域における社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。</p> <p>【社会的な思考・判断】 地域における社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考え、適切に判断する。</p> <p>【観察・資料活用の技能】 地域における社会的事象を的確に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を効果的に活用したりするとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。</p> <p>【社会的事象についての知識・理解】 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法 児童の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を重視し、児童が身につけた知識・理解・技能だけでなく、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力などの観点を大切に評価します。</p> <p>ペーパーテストだけでなく、児童自身が作った作品、発言、ノート、アンケート、自己評価、相互評価など様々な方法により個々の児童を多面的に評価します。</p> <p>学習の進行中に現れる児童の思いや願いを、その都度評価し児童の指導に生かします。</p> <p>友達や教師とのかかわり合いの中から、児童自らが、自分自身の学習の仕方や理解の程度などを自己評価したものも参考にします。</p>
--	---

特色ある学習方法

<p>(1) 見学、調査 見学、調査に行くときは、見学カードや見学ノートを使います。 見学、調査に行く前に、各自で調べたいことを整理しておきます。 見学、調査のルールやマナーは、事前に学習しておきます。 スーパーマーケット、工場、警察署、消防署などを見学し、聞き取り調査をします。</p> <p>(2) 資料活用 教科書やわたしたちの広島市の他、手紙、インターネット、現地資料、インタビュー資料などを使います。</p> <p>(3) 地図の活用 地図の見方を学習し、地図を使って学習している場所の確認をします。</p> <p>(4) 表現活動 観察や見学、調査、体験などを通して調べたことをまとめ、個人やグループで発表します。 新聞や手紙、紙芝居、絵地図、などいろいろな方法で表現し、発表し合います。</p>
--

使用教材等

<p>教科書「新しい社会」(東京書籍) 副読本「わたしたちの広島市」(児童図書出版社) 社会科学習のてびき 地図「広島市・広島県地図」 見学、調査資料の活用 実際に見学したり、聞き取り調査したりしたことをもとに学習を深めていきます。 絵やVTR、写真などの活用 学習の興味を高め、理解を深めるため、事象や事物の絵、VTR、写真などを教材として活用します。またインターネット情報を教材として活用します。</p>
--

留意事項

<p>(1) 見学の計画を立てる際や、学習したことのまとめにワークシートや社会科学習のてびきを使用します。</p> <p>(2) 3年生では社会科で広島市の勉強をします。1学期には広島市のいろいろな公共施設について、2学期には商店の仕事について勉強します。しかし、子どもたちは本や地図などだけではやはり実感がわかないようです。ぜひ、休みの間には、いろいろなところへ連れて行ってあげてください。どんなところが勉強で出てくるかは社会科の副読本「わたしたちの広島市」をごらんください。</p>
